

『自己形成』～『実在と理想の連続』～

2023 年 8 月 28 日 スイスのチューリッヒから帰国された『市ヶ谷だいじょうぶ！カフェ』主催の田口桂子氏から『アルプスの少女ハイジ』のスイスの作家 ヨハンナ・シュピリ (1827-1901) の墓の写真が送られてきた(画像)。大いに感動した。ヨハンナ・シュピリは、ゲーテ(1749-1832)を、こよなく敬愛した。『ハイジ、クララ』の『自己形成小説』である。『涙とともに パンを食べた者でなければ、人生の本当の味は わからない』(ゲーテ)が、『小さなことに 大きな愛を込める』(画像)の『がん哲学外来』の原点ともなった。

新渡戸稲造(1862-1933)は札幌時代(18 歳頃)、鬱病に陥り イギリスのカーライル (1795-1881)の『衣装哲学』に出会い、『渴者の飲を求めるとき勢いで読んで慰藉を得た』と言われる。カーライルは、『実在と理想の連続』、つまり『リアルの中にアイデアがある』と考えていた。これは 新渡戸稲造を 師とする南原繁(1889-1974)の『理念をもって現実に向かい 現実の中に理念を問う知性のあり方』(理想主義的現実主義)に繋がる。カーライルの『師匠』はゲーテであり、まさに『歴史の動脈は 人物を通して流れている』である。

8 月 29 日 和洋女子大学 人文学部心理学科教授 酒井久実代先生から『がん哲学外来ピア・カフェ at 三鷹ネットワーク大学』での講演会に 招待された(画像)。終了後スタッフの皆様との夕食会で、来年(2024 年)の『がん哲学外来ピアカフェ at 三鷹ネットワーク大学 5 周年記念』の企画で大いに盛り上がり、『5 周年記念誌』製本がたちまちに決定された。ただただ 感服した。『冗談を 本気でする 胆力』でもあろう！今回は、まさに、『アルプスの少女ハイジの現代的意義 ～ 喜んで無邪気に小さなことに大きな愛を込める ～』の復習の充実した貴重な時となった。

8 月 30 日 『目白がん哲学外来』主催者の森尚子氏から【今朝、『昨夜、Yahoo ニュースハルメクの記事が出てました。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6df4f5f9bc4790c253c12527d1992c1bc97c6c43>】との心温まるメールが送られてきた。ただただ感謝である。

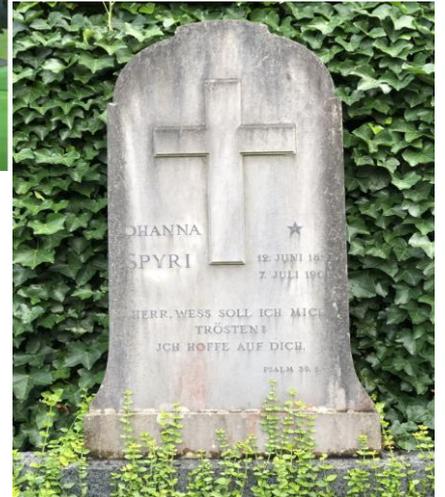
# 「涙とともに パンを食べた者でなければ 人生の味は分からない」（ゲーテ） ～小さなことに、大きな愛をこめて～

「アルプスの少女ハイジ」の現代的意義  
喜んで無邪気に小さなことに大きな愛を込める

公開シンポジウム  
「がん哲学外来～  
『21世紀のアルプスの少女ハイジ』に学ぶ自己形成～」



ラジオ NIKKEI  
「大人のラヂオ 樋野興夫のがん哲学学校」公開収録



- ◆日時: 2017年9月11日(月) 16:30~19:00 \*オンエア: 9月22日(金) 11:35~
  - ◆会場: ラジオ NIKKEI 第2スタジオ  
〒105-8565 東京都港区虎ノ門 1-2-8 虎ノ門等平タワー17階
  - ◆定員: 20名 ※当日先着順のスタジオ入りで参加できます
  - ◆総合司会: 大槻都希子 (「大人のラヂオ 樋野興夫のがん哲学学校」に出演中)
  - ◆開会の挨拶: 大塚佳寿子 (越冬隊友の会 副会長)
  - ◆基調講演: 『21世紀のアルプスの少女ハイジ』の現代的意義  
本岡恵美 (たまプラーザがん哲学外来カフェ スタッフ)
  - ◆特別講演: 『21世紀の名古屋の少女ハイジの実践』  
彦田かな子 (空っぼの癌友の会 会長)
  - ◆パネルディスカッション:  
「がん哲学外来～『21世紀のアルプスの少女ハイジ』に学ぶ自己形成～」  
進行: 森尚子 (空っぼの癌友の会 副会長)  
パネリスト: 角田万木 (越冬隊友の会 広報担当)、本岡恵美、彦田かな子、小林真弓 (越冬隊友の会 庶務担当)、大塚佳寿子
  - ◆閉会の挨拶: 樋野興夫先生  
順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授、医学博士、一般社団法人がん哲学外来理事長
- お問い合わせ先: 042-395-2140 E-mail: [kzoy@aia.bb-east.ne.jp](mailto:kzoy@aia.bb-east.ne.jp) (大塚佳寿子)  
企画・共催: 越冬隊友の会、空っぼの癌友の会  
後援: 一般社団法人がん哲学外来 <http://www.gantetsugaku.org/>
- \*当日は撮影のカメラが入りますが、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます

## ● がん哲学外来ピア・カフェ at 三鷹ネットワーク大学

# 樋野興夫先生による講演と ピア・カフェ



講師

**樋野 興夫**

恵泉女学園理事長  
新渡戸稲造記念センター長  
順天堂大学名誉教授

患者やその家族が持つ心の痛みに寄り添い対話をする中で、言葉による処方をしている「がん哲学外来」。

「がんであっても笑顔を取り戻し、人生を生きることが出来るように支援したい」との思いから開設され、今では全国各地にこの活動の輪が広がっています。

今年度も、創始者である樋野興夫先生のお話をお聴きします。

また、講演の後には、講演の感想や近況について自由に語り合うピア・カフェの時間もあります。ピアは仲間という意味で、痛みや不安を共有する仲間同士で語り合う場です。

ぜひ、この機会に足をお運びください。

※ 飲食物の提供はありません。

第1部 樋野興夫先生 講演

第2部 ピア・カフェ (仲間同志の語り合い)

開催日

**8月29日(火) 午後2時～4時**

定員: 25人 (先着制)

受講料無料

お申し込み・お問い合わせ

三鷹ネットワーク大学推進機構

申込期間 ▶ 8月8日(火) 9:30～8月27日(日) 17:00

電話 0422-40-0313

FAX 0422-40-0314

URL <https://www.mitaka-univ.org/>

〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階

Web申込はこちらから

